



中島洋 市民参加型アートプロジェクト「記憶のミライ」 以下「中島洋 市民参加型アートプロジェクト『記憶のミライ』」すべて、撮影：露口啓二



祝祭・モーツァルト in 北海道2021 撮影：武田博治

公募企画事業

Open Call Programs

SCARTSでは、文化芸術に関わる企画を、個人・事業者・団体を問わず広く募集し実施する「公募企画事業」を行っています。応募された企画は社会性や発展性、SCARTSのミッションとの関わりなどの観点から選考委員が審査し、採択された企画に対しては以下のサポートを行っています。

- ①SCARTSの会場や備品の無償提供
 - ②SCARTSのスタッフによる技術面でのアドバイスやサポート
 - ③チラシ印刷費の負担および文化施設への配布等の広報サポート
 - ④プロのカメラマンによる記録写真の撮影を提供
- (以上、2020年度実施実績)

誰にでも、新しい表現を創造するチャンス

SCARTSと共に企画を実施することによって、広報面や記録面を強化します。また、SCARTSが技術的なサポートを行うことで、企画者が思い描いた展示や公演等のイメージを可能な限り実現し、質の高い企画の実施と経験の蓄積を目指します。この取り組みを通して、札幌の文化芸術に寄り添い、支え育むと共に、文化芸術の持つ創造性を生かしたまちづくりに貢献することを目指しています。

2020年度は、新型コロナウイルス感染症の流行による緊急事態宣言の影響等で次年度に延期するものや中止するものもあり、ふたつの事業を開催しました。



展示された8mmフィルムや映写機材には、自由に触ることができる



8mmフィルムを好きな長さに切り、水槽に浮かべる

中島洋 市民参加型アートプロジェクト「記憶のミライ」

会期 2020年7月11日(土)～20日(月) 11:00～19:00

会場 SCARTSスタジオ

入場料 無料

主催 中島洋、札幌文化芸術交流センター SCARTS(札幌市芸術文化財団)

協力 井上大介、小林大賀、中島ひろみ、中島彌生、中野均、松塚典子、丸田知明、山本敏、池田工機、シアターキノ、3KG、登別映像機材博物館、株式会社プリズム、株式会社ユニプラス、8mmフィルムをご提供いただいた数多くの市民の皆さん

中島洋による市民参加型アートプロジェクト「記憶のミライ」の成果としての展覧会を開催しました。「歴史が浅いと言われる札幌でも、その根底には名もなき市民の毎日の小さな暮らしの積み重ねがあり、その営みが大きな波となって札幌の歴史をつくっている」と考える中島が呼びかけ、市民から集まった8mmフィルムは247本、約45時間。その中から選んだ5時間分のフィルムをデジタルに変換し、スタジオ内に設置した4つのスクリーンと、中央の水槽に投影するインスタレーションを制作しました。水槽には、観客が自由な長さに切ったフィルムを浮かべることができ、過去の記憶の映った水槽に、現在を生きる人々に関わる参加型の作品となりました。

中島洋

1950年兵庫県生まれ。1968年、北海道大学に入学し、以降は札幌を拠点に活動。学生時代から、自主製作・自主上映活動を行い、1971年より映像個展を札幌他各地で開催、1989年以降にはヨーロッパ、アメリカなど各地の映画祭においてその作品が招待上映されるなど国際的にも高い評価を得ている。1992年、座席数が29の日本最小の映画館「シアターキノ」を札幌に設立した。1996年、札幌市民文化奨励賞を受賞。2021年より映画『Wakka(水)』を制作中、2022年夏完成予定、2023年から全国公開を予定している。



N.ザスロウ監修モーツァルト復刻コレクションのほか、パネルや往復書簡の複製の展示を行った 撮影:武田博治

祝祭・モーツァルト in 北海道2021

会期	2021年3月30日(火)～31日(水)
会場	SCARTSコート
入場料	無料
主催	北海道モーツァルト協会、札幌文化芸術交流センター SCARTS(札幌市芸術文化財団)
芸術総合プロデューサー	塚田康弘
オフィシャルパートナー	伊藤メンタルクリニック、いわさか歯科医院、宝琳寺、はまだ内科医院
後援	日本モーツァルト研究所、イタリアモーツァルト協会、北海道、札幌市
協力	札幌市図書・情報館、株式会社アトリエ・モリヒコ、北海道教育大学・実験劇場

海老澤敏氏によるビデオレクチャーの上映、同氏のコレクションおよびN.ザスロウ監修モーツァルト復刻コレクション等の展示を行いました。会場に隣接するレストラン、カフェではBGMとしてモーツァルトの楽曲が流れ、図書・情報館では「食祭・モーツァルト」と題して食とモーツァルトに関連する書籍を展示するなど、モーツァルトの音楽家としての活動だけでなく、その生涯に焦点をあてることをテーマに、多角的な視点や感覚で楽しめる、複合施設ならではの2日間となりました。



芸術総合プロデューサー 塚田康弘あいさつ 撮影:武田博治



札幌市図書・情報館での関連本展示「食祭・モーツァルト」



海老澤敏ビデオレクチャー



カフェ MORIHICO. 芸術劇場とのコラボメニューのウインナーコーヒー

北海道モーツァルト協会

北海道モーツァルト協会は1997年に発足した七飯モーツァルト協会の活動理念を1999年より継承し、モーツァルト音楽啓発活動を通して地域においてつくられる音楽文化発展に寄与することを目指している。地元の演奏団体などの育成を期したプロ演奏家との交流といった音楽実践を行い、地域全体がモーツァルト音楽に浸れるような環境づくりを目指すと共に、2012年よりイタリアモーツァルト協会と提携しモーツァルト音楽を介した国際文化交流に寄与してきた。